

Suzyの

今月の数字

エマージング版

情報提供資料 2012/12/07

数字マニアの  
スージーがお届けする「今月の数字」。  
エマージング各国・地域の  
オドロキの数字をお伝えします。



第4回



南アフリカ共和国

円周1.6キロ!

南アフリカ共和国にある  
人力で掘った世界最大の穴!

Sanibonani!! (サニボナーニ! /こんにちは!)

南アフリカ共和国と言えば、2010年にアフリカ大陸で初めてサッカーの世界選手権「FIFAワールドカップ」が開催された国として記憶されてる方が多いのでは? または1994年に撤廃されたアパルトヘイト(非白人隔離政策)を思い浮かべる方が多いかもしれません。

アフリカ大陸の中でもサハラ砂漠より南の地域(サブサハラ・アフリカ)は、多くの国で内戦や紛争が続いてきましたが、2000年頃より政治が安定し始め、資源国ブームの波を受けて高成長が始まりました。

世界に目を向けると成熟しつつある新興国が出てきている中、今後成長期を迎えそうなサブサハラ・アフリカに今、熱い視線が注がれています。

なかでもプラチナや金、ダイヤモンドなどの鉱物資源を多く産出するアフリカ最大の経済大国である南アフリカ共和国は、アフリカ唯一のG20参加国であり、安定的な成長が期待されています。

今回は、そんな南アフリカ共和国をピックアップ!



## ★ 円周1.6キロ! 人力で掘った世界最大の穴



南アフリカ共和国のキンバリーには人力で掘った穴としては地球上で最大と言われている「ビッグ・ホール」があります。

表面積17ヘクタール(東京ドーム約3.5個分)、円周は1.6キロ、直径465メートル、縦坑は深さ1,097メートル、現在は地下水と雨水で池ができています。

実はこの穴、ダイヤモンド採掘場跡なんです!

1866年に河原でダイヤモンドの原石が発見されて以降、ここキンバリーは世界中から一攫千金を夢見る男達が集まり、ゴールド・ラッシュならぬダイヤモンド・ラッシュが始まりました。

もともとここは丘でしたが、あっという間になくなりその後は下へ下へと掘り起こされていきました。

1914年にダイヤモンドを採掘し尽くした為、閉山となりましたが、それまでに2,200万トン以上の土砂が掘り起こされ、1万4,504カラット(2,722kg)のダイヤモンドが採掘されたそうです。「ダイヤモンドは永遠の輝き」のキャッチフレーズで有名なデビアス社®もここキンバリーからスタートし、巨万の富を築きました。

南アフリカ共和国では、現在、世界最大の研磨済みダイヤモンドと言われている545.67カラット(原石は755カラット)の「ザ・ゴールデン・ジュビリー」をはじめ、83.5カラットの「南アフリカの星」や「カリナン」、「テラー・バートン」、「センティナリー・ダイヤモンド」など世界的に有名なダイヤモンドを産出しています。

## ★世界のハイテク産業を支える南アフリカ共和国

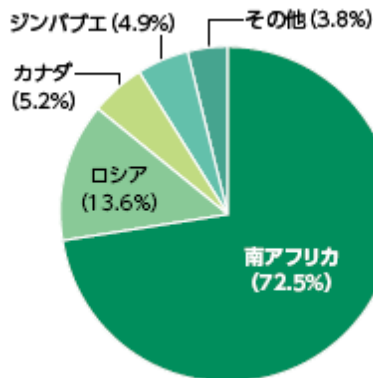
南アフリカ共和国は先述のダイヤモンドと共に、プラチナやクロムなどのレアメタル(希少金属)と呼ばれる鉱物資源の宝庫で、プラチナの産出量は約73%、クロムの産出量は約46%と世界一のシェアを誇っています。他にも、バナジウムやパラジウム、ロジウムなど多種類のレアメタルが南アフリカ共和国で産出されています。

プラチナは、アクセサリ用の貴金属として身近に感じられますが、実際は、自動車の排ガスを無害化する“触媒材料”としての使用量の方が多い鉱物です。また、プラチナと同じ白金族金属のレアメタルであるロジウムも、そのほとんどは自動車用の触媒として使用されており、一般の人は、直接目にすることはありませんが、自動車産業にとって不可欠なレアメタルです。

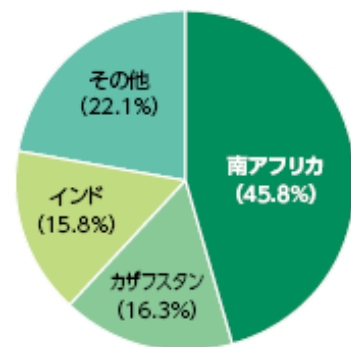
レアメタルはハイテク産業の製造には不可欠な金属として「産業のビタミン」とも呼ばれており、南アフリカ共和国はレアメタルの産出を通じて世界のハイテク産業を支えるという重要な役割をもっています。

### ■レアメタルの主要産出国(2011年概算値)

#### ●プラチナ



#### ●クロム



【出所】USGS Mineral Commodity Summaries 2012 ※四捨五入の影響により、合計が100%にならない場合があります。

## ★もう一つの資源、ブラック・ダイヤモンド!

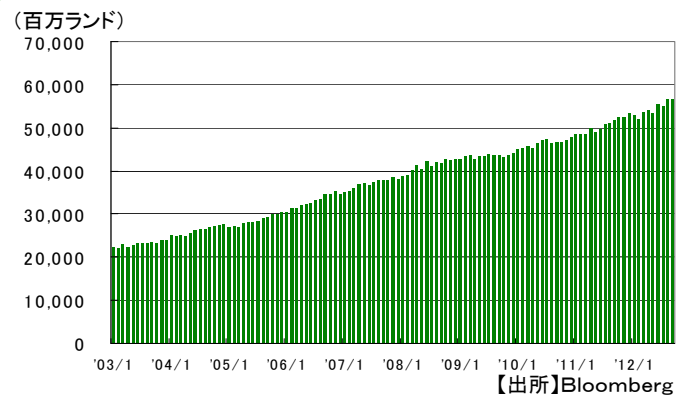
レアメタルなどの資源を多く保有する南アフリカ共和国で、もう一つ注目されている資源がブラック・ダイヤモンドです。

ブラック・ダイヤモンドとは、宝石のダイヤモンドではなく、月6,000ランド(約55,560円\*)以上稼ぐ黒人の事をいいます。近年の経済成長の原動力となり、また今後もその拡大が期待されるため、鮮やかな輝きを放つ宝石に例えられています。現在、ブラック・ダイヤモンドと呼ばれる人たちは黒人2,430万人(08年)のうち300万人に上ると推計されており、今後も増加すると予想されています(ケープタウン大学ユニバーバ研究所調べ)。\*2012年11月末の為替レート(1ランド=9.26円)で計算。

南アフリカ共和国では、アパルトヘイトが1994年に撤廃されるまで、人口の8割を占める黒人は厳しい差別を受け、貧困を余儀なくされていましたが、アパルトヘイト撤廃後は、同国初の黒人大統領となったネルソン・マンデラ氏の功績もあって、安定した政治体制の下で、黒人層の経済活動の拡大や所得水準の向上を目指してきました。

2003年には企業の役員・管理職に黒人を登用することなどを義務付ける法律が制定され、差別されていた黒人は徐々に仕事を得るようになり誕生したのがブラック・ダイヤモンドです。それまで殆ど大規模商業施設のなかったタウンシップ（アパルトヘイト時代の非白人居住区）では、2005年以降、ショッピングモールの開発が相次ぐなど、個人消費は急拡大しました。その多くにブラック・ダイヤモンドが貢献しているものと思われます。

■南アフリカ共和国の小売売上高



まだブラック・ダイヤモンドは、黒人の1割程度に過ぎず、依然として多くの黒人が高い失業率と貧困に苦しんでいます。しかし、南アフリカ共和国の若者の多くは親世代よりいい生活が送れると確信しており、若者世代の子供はさらにいい生活を送れると考えているそうです。

ブラック・ダイヤモンドが一段と増えてくれば、南アフリカ共和国は鉱物資源だけでなく、さらに旺盛な個人消費で自国の成長に磨きをかけ、輝きを増していくことが期待されます。

スージーのつぶやき ♪♪

「雪が降ったら結婚しよう！」

2年前、南アフリカ共和国の都市ヨハネスブルグのカップルが冗談めかしてしていた約束が今年の8月に実現したんだよ♪

雪が降るのはきわめて稀なヨハネスブルグで最後に雪が降ったのは5年前。同国の気象当局によると、ヨハネスブルグで降雪が確認されたのは過去103年間でわずか12回なんだって。

突然の雪に親族が地元のラジオ局に連絡して2人の「約束」を伝えたとこ、ラジオ局は急きょ2人の結婚式の用意をして、生放送で挙式したんだって。

奇跡のホワイトウェディング・・・なんかロマンティックでいいよね～☆



本格的に寒くなってきましたね。皆さんご自愛ください。では、また来年会えることを楽しみにしています♪

ご意見、お問い合わせはこちらまで

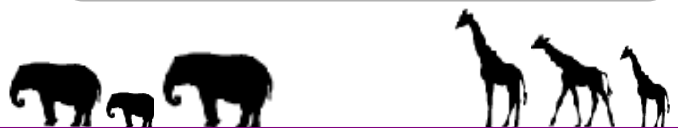
【電話】  0120-759311 受付時間 / 営業日の9:00～17:00

以下よりバックナンバーをご覧ください。

第1回 トルコ / 東京ドーム10個分 (2012.08.06)

第2回 ブラジル / 562Km (2012.10.01)

第3回 ロシア / 72ピース (2012.11.01)



【本資料に関してご留意頂きたい事項】

本資料は投資判断の参考となる情報の提供を目的として、国際投信投資顧問が作成したものです。本資料は投資勧誘を目的とするものではありません。なお、以下の点にもご留意ください。

○本資料中のグラフ・数値等はあくまでも過去のデータであり、将来の経済、市況、その他の投資環境に係る動向等を示唆あるいは保証するものではありません。

○本資料の内容は作成基準日のものであり、将来予告なく変更されることがあります。

○本資料は信頼できると判断した情報等をもとに作成しておりますが、その正確性、完全性等を保証するものではありません。

○本資料で使用している写真は筆者が個人的に撮影したものです。